

6. 病院における看護師・准看護師需要

(1) 病院全体の看護師・准看護師数の伸び

2006年10月末実績と、2007年4月以降の予定を質問した。ただし両方で回答数が異なったため、回答医療機関数で割って1医療機関当たりの看護師・准看護師数を計算し、その伸び率を計算した。2006年10月末を100としたとき、2007年4月104.8、2008年4月108.4、2009年4月110.0であった。

(2) 一般病床の看護師・准看護師の伸び

病院全体の看護師・准看護師数の再掲である。7対1、10対1などの看護配置基準の予定に、看護配置基準別の一般病床数の予定を乗じて、看護師・准看護師数を推計した。すべての病院が看護配置基準を予定どおりに引き上げた場合、2006年10月末を100としたとき、2007年4月111.0、2008年4月116.8、2009年4月119.5の看護師・准看護師が必要になると推計された(表6)。

表6 病院における看護師・准看護師数の伸び率推計

(1) 病院全体の看護師・准看護師数

総数(回答医療機関の合計)		(千人)				
		回答医療機関数	2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
看護師・准看護師数	現状	2,047	263	—	—	—
	将来	1,705	—	229	237	241

1医療機関当たり看護師・准看護師数

		(人)				
			2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
看護師・准看護師数			128.4	134.5	139.2	141.2
	2006年10月を100とする		—	104.8	108.4	110.0

(2) 一般病床の看護師・准看護師数

総数(回答医療機関の合計)		(千人)				
		回答医療機関数	2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
看護師・准看護師数		1,305	28	31	33	33
	2006年10月を100とする	—	—	110.0	116.8	119.5

*一般病床の看護配置基準、一般病床数の予定を回答した医療機関から計算。一般病床の減床予定は織り込み済。

(3) 全国ベースでの病院における看護師・准看護師需要予測

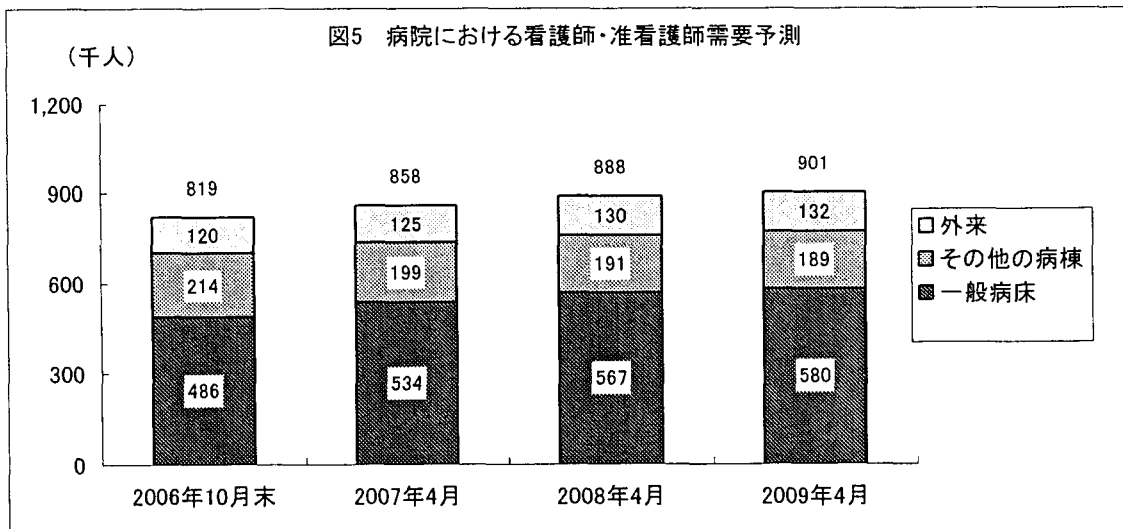
まず、「2. 病院における看護師・准看護師の現状の配置状況」(3頁)で求めた看護師・准看護師の現状の配置人数を2006年10月末におく。そして以下の手順で、看護師・准看護師数を推計する。

- ① 病院全体の看護師・准看護師の合計を、先に求めた伸び率で延伸する。
- ② 一般病床の看護師・准看護師を、先に求めた伸び率見込みで延伸する。
- ③ 病棟勤務、外来勤務看護師・准看護師数の比率は現状と同じ1:0.17とする。
- ④ 合計から一般病床、外来勤務を除いた人数を、病棟勤務のその他におく。

表7 病院における看護師・准看護師の需要予測 (千人)

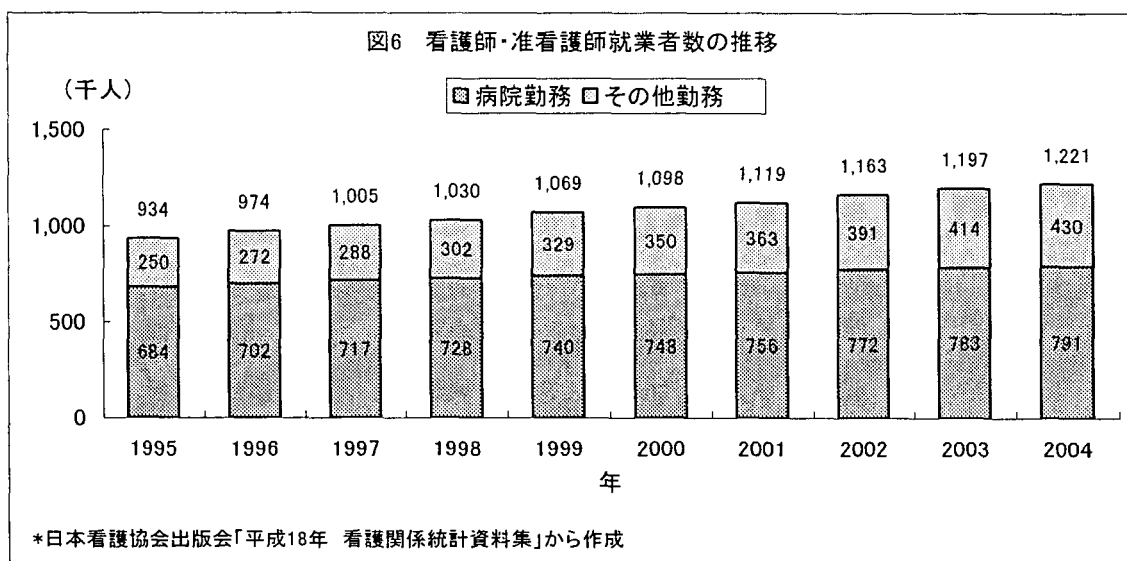
	2006年10月末	2007年4月	2008年4月	2009年4月
一般病床②	486	534	567	580
その他	214	199	191	189
病棟計	700	733	758	769
外来③	120	125	130	132
合計①	819	858	888	901

以上の結果、仮にすべての病院が看護配置基準を予定どおりに引き上げた場合、2006年10月末から、2007年4月までに約4万人、2008年4月までに約7万人の看護師・准看護師増が必要になると推計された(表7、図5)。



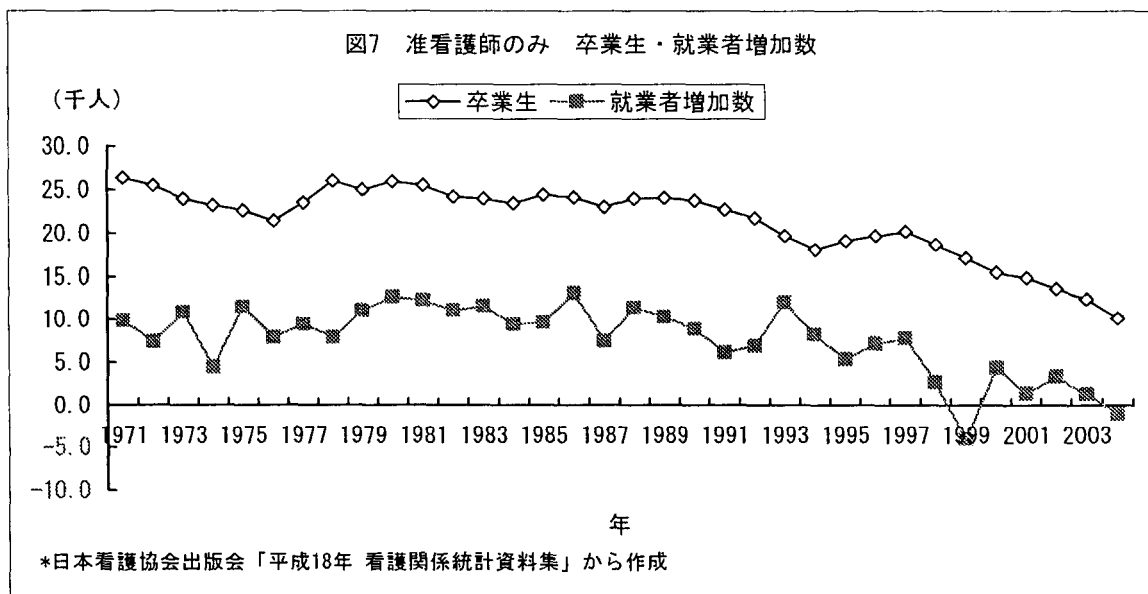
7. 看護師・准看護師就業者数と卒業者数の推移

過去5年間、病院以外も含めた年平均看護師・准看護師就業者数の伸びは約3万人となっている(図6)。このうち、病院勤務の看護師・准看護師に限って言えば、年平均1万人の増加にとどまっている。



8. 看護師・准看護師不足のひとつの背景

看護師・准看護師不足の背景として、准看護課程卒業者数が激減していることも挙げられる。准看護師の4割近くは診療所に勤務しており、病院の看護師・准看護師不足の問題は、診療所にも深刻な影響を与えようとしている。



まとめ

(1) 看護配置基準の引き上げは、段階的に行うように方向修正をすべきである

ここ約1年半の間に、急激な看護配置基準の引き上げが予定されている。また、基準達成のため、一般病床2万床以上の閉鎖も検討されている。

2万床の病床を閉鎖してもなお、看護師・准看護師数は不足する。このような中、大規模病院が急激に看護配置基準を引き上げようとしているほか、都市部の病院からの求人が増えている。民間中小病院を中心とした地域では、看護師不足によるさらなる病棟閉鎖が進む。

このままでは、またたく間に地域医療が崩壊しかねない。看護基準の引き上げは、看護師数の増加に合わせて段階的に行うよう方向を修正する必要がある。

(2) 早急に准看護師養成策を見直すべきである

看護師・准看護師不足の背景のひとつは、准看護師課程卒業生数が激減していることにもある。今後、病院は看護配置基準の引き上げのため、診療所の准看護師もターゲットにしかねない。早急に准看護師養成策を練り直すべきである。

日本医師会看護職員需給調査

病院用調査票

2006年10月31日の状況でご記入下さい。

医療機関名	
所在地	_____都・道・府・県_____市・郡・区_____町・村
病院種別	<p>該当箇所には○をつけて下さい</p> <p>1 一般病院(一般病床、療養病床、それ以外の病床保有)</p> <p>2 精神病院(精神病床のみ保有) 3 結核病院(結核病床のみ保有)</p>
開設者	<p>該当箇所には○をつけて下さい</p> <p>1 国立(厚労省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構など)</p> <p>2 都道府県 3 市町村</p> <p>4 公的医療機関(日赤・済生会・厚生連など)</p> <p>5 社会保険関係団体(全社連・厚生年金事業振興団など)</p> <p>6 公益法人 7 医療法人 8 学校法人 9 個人</p> <p>10 その他(_____)</p>
病床数	<p>医療法上の許可病床数をご記入下さい。</p> <p>_____ 床</p>
ご連絡先	<p>※調査内容について問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。医療機関名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することはありません。</p> <p>ご担当部署名 _____ (ご担当者名 _____)</p> <p>電話番号 _____</p>

本調査は日本医師会が集計・分析を致しますが、データの取り扱いには十分配慮し、個別情報を開示することはありません。

(1)現在(2006年10月31日)の病床数・患者数・在籍看護職員数をご記入下さい。

常勤・非常勤・パートタイマー等の実人員でご記入下さい(看護補助者は対象としません)。

入院基本料等	区 分 (○印をつけて下さい。)					届出病床数 (健保法上)	1日平均入院 患者数(10月 分)	看護師数	准看護師数
	7対1	10対1	13対1	15対1	特別				
一般病棟入院基本料(感染症病床を含む)						床	人	人	人
療養病棟入院基本料(医療保険)						床	人	人	人
結核病棟入院基本料	7対1	10対1	13対1	15対1		床	人	人	人
	18対1	20対1	特別						
精神病棟入院基本料		10対1		15対1		床	人	人	人
	18対1	20対1	特別						
特定機能病院 入院基本料	一般病棟	7対1	10対1			床	人	人	人
	結核病棟	7対1	10対1	13対1	15対1	床	人	人	人
	精神病棟	7対1	10対1		15対1	床	人	人	人
専門病院入院基本料	7対1	10対1	13対1			床	人	人	人
障害者施設等入院基本料		10対1	13対1	15対1		床	人	人	人
救命救急入院料						床	人	人	人
特定集中治療室管理料						床	人	人	人
ハイケアユニット入院医療管理料						床	人	人	人
新生児特定集中治療室管理料						床	人	人	人
総合周産期特定集中治療室管理料			母体・胎児			床	人	人	人
			新生児			床	人	人	人
広範囲熱傷特定集中治療室医療管理料						床	人	人	人
一類感染症患者入院医療管理料						床	人	人	人
(再掲)特殊疾患入院医療管理料(病室単位のもの)						床			
小児入院医療管理料(3は再掲)			1			床	人	人	人
			2			床	人	人	人
回復期リハビリテーション病棟入院料						床	人	人	人
亜急性期入院医療管理料						床	人	人	人
特殊疾患療養病棟入院料(病棟単位のもの)						床	人	人	人
緩和ケア病棟入院料						床	人	人	人
精神科救急入院科						床	人	人	人
精神科急性期治療病棟入院科						床	人	人	人
精神療養病棟入院科						床	人	人	人
老人性疾患治療病棟入院科						床	人	人	人
介護療養病棟(介護保険)						床	人	人	人
小 計						床	人	人	人
外 来								人	人
合 計								人	人

(2) 今後の病床数と看護配置について、貴院の方針にもっとも近い番号に○印を付けて下さい。

- 病床数を維持し、
1. 看護基準を引き上げる
 2. 看護基準を維持する
 3. 看護基準を引き下げる
 4. その他(具体的に:)

- 病床数を減床し、
5. 看護基準を引き上げる
 6. 看護基準を維持する
 7. 看護基準を引き下げる
 8. その他(具体的に:)

- 病床数を増床し、
9. 看護基準を引き上げる
 10. 看護基準を維持する
 11. 看護基準を引き下げる
 12. その他(具体的に:)

(3) 一般病床と療養病床(医療保険)の今後3年間の予定病床数(許可病床数)をご記入下さい。

	平成 19 年 4 月 (2007.4)	平成 20 年 4 月 (2008.4)	平成 21 年 4 月 (2009.4)
一般病床	床	床	床
療養病床(医療保険)	床	床	床

(4)一般病床の看護基準の予定をご記入下さい。

	現 在 平成 18 年度	平成 19 年度 (2007 年度)	平成 20 年度 (2008 年度)	平成 21 年度 (2009 年度)
看護基準				

※記入例 : 現在の 13 対 1 を 2007 年度に 10 対 1、2008 年度に 7 対 1 にする場合

	現 在 平成 18 年度	平成 19 年度 (2007 年度)	平成 20 年度 (2008 年度)	平成 21 年度 (2009 年度)
看護基準	13 対 1	10 対 1	7 対 1	7 対 1

(5)当面の看護師・准看護師の在籍予定(目標)人数をご記入下さい。

※実人員数でご記入下さい。看護補助者は対象としません。

	平成 19 年 4 月 (2007.4)	平成 20 年 4 月 (2008.4)	平成 21 年 4 月 (2009.4)
看護師数	人	人	人
准看護師数	人	人	人
合計	人	人	人

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

2) 病院種別等の変化

	看護師課程	准看護師課程
1. 主として急性期中心の医療機関からの求人が増えた		
2. 主として慢性期中心の医療機関からの求人が増えた		
3. 老健など介護施設からの求人が増えた		
4. その他 1 ()		
5. その他 2 ()		
6. その他 3 ()		

(3) 大規模な求人が来ているところで、主なもの(求人件数の多い順に3つ～5つ程度)をご記入下さい。

	看護師課程	准看護師課程
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
	人	人
(記入例) 県内のA大学病院	250人	0人

※注) 求人先の固有名詞は必ずしもご記入頂く必要はありません。「県内のA大学病院」「県外の民間急性期B病院」のような記載で結構です。

(4) 直近3年間の卒業生について、県内・県外別、進路別に人数をご記入下さい。

1) 看護師課程

		平成 16 年 3 月 (2004. 3)	平成 17 年 3 月 (2005. 3)	平成 18 年 3 月 (2006. 3)
県内へ	就職	人	人	人
	進学	人	人	人
	就職かつ進学	人	人	人
	その他・不明	人	人	人
	計	人	人	人
県外へ	就職	人	人	人
	進学	人	人	人
	就職かつ進学	人	人	人
	その他・不明	人	人	人
	計	人	人	人
合計		人	人	人

2) 准看護師課程

		平成 16 年 3 月 (2004. 3)	平成 17 年 3 月 (2005. 3)	平成 18 年 3 月 (2006. 3)
県内へ	就職	人	人	人
	進学	人	人	人
	就職かつ進学	人	人	人
	その他・不明	人	人	人
	計	人	人	人
県外へ	就職	人	人	人
	進学	人	人	人
	就職かつ進学	人	人	人
	その他・不明	人	人	人
	計	人	人	人
合計		人	人	人

(5) 直近3年間の入学生について、県内・県外別に人数をご記入下さい。

1) 看護師課程

	平成16年3月 (2004.3)	平成17年3月 (2005.3)	平成18年3月 (2006.3)
県内から入学	人	人	人
県外から入学	人	人	人
合計	人	人	人

2) 准看護師課程

	平成16年3月 (2004.3)	平成17年3月 (2005.3)	平成18年3月 (2006.3)
県内から入学	人	人	人
県外から入学	人	人	人
合計	人	人	人

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。